

パキラ

パンヤ(アオイ)科・パキラ属

特徴

名前はギアナでの現地名に由来します。本来は樹高7m～15mになる高木ですが、園芸では10cm～2m程度のものを鉢植えとして観葉植物として楽しみます。幹がとっくり状にずんぐり太り、葉の軸を長く伸ばし、その先端にカサを広げたように5～7枚の小葉をつけます。比較的乾燥に強く、丈夫で害虫もつきにくいいため、初心者におすすめです。根もあまり張らないため、大きくさせずに長い期間に渡って育てていくことができます。



用土

水はけのよい土肥えた土が適しています。市販の観葉植物用土、または赤玉土小粒7：腐葉土3の割合で混ぜた土を使います。

置き場所

直射日光を避け、窓越しの日当たりの良い室内で管理します。日当たりが悪いと、徒長して枝が間延びし、バランスが悪くなります。冬は5℃～7℃を目安にし、夜間の窓際は冷えるので、暖かい所に移動させましょう。

水やり

5～9月の育成期は、土の表面が白っぽく乾いてきたらたっぷりと水を与えます。その際、霧吹きなどで葉の裏側にも水をかけると元気に育ちます。冬は、水やりの回数を減らし、乾燥気味に管理します。鉢土の表面が乾燥して2、3日後に、水を与えるようにします。

肥料

生育期の春から秋にかけて、緩効性肥料（ゆるやかに長く効く肥料）を2カ月に1回与えます。冬は、与える必要はありません。

植え替え

小さい株は生育に応じて年1回、大きい株は2年に1回程度、5月～9月に、一回り大きな鉢に新しい用土で植え替えます。大きくしたくない場合は、鉢土を1/3程度落とし、今までと同じサイズの鉢を用います。

切り戻し

高温時は、枝が伸びやすいので、6月～8月に伸びた枝は切り取ります。カットした枝は挿し木にでき、赤玉土に挿すと1カ月程で発根、発芽します。充分根が出たら、鉢植え用の用土で鉢に植え付けます。